

一般財団法人東京都つながり創生財団令和2年度第2回理事会（臨時）議事要旨

- 1 開催日時 令和2年11月19日（木曜日） 午後3時05分から午後4時10分まで
- 2 場 所 一般財団法人 東京都つながり創生財団
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階 会議室
- 3 理事の現在数 3名
- 4 出席理事の数及び氏名 3名 マリ クリスティーヌ
梶村 勝利
田中 延広
- 5 出席監事の数及び氏名 1名 有我 康子
- 6 議長 マリ クリスティーヌ
- 7 議事録署名人 マリ クリスティーヌ
有我 康子
- 8 議決事項 なし

9 議事の経過

冒頭、定款第38条の規定に基づきマリ理事長が議長に就任した。本会が定足数を満たし、理事会として有効に成立していること及び定款第42条第2項の規定に基づき、本会の議事録には理事長及び監事が記名押印することの報告があったのち議事に入った。

10 報告事項

(1) 東京都多言語ナビの運営状況について

配付資料に基づき、東京都多言語相談ナビの運営状況について事務局から報告を行った。報告終了後、以下のとおり質疑が行われた。

(質問)

財団がインターナショナルスクールの相談にのるということは可能か。

(回答)

学校や外国人コミュニティとも連携していけるようにしていきたい。

(質問)

件数として英語の件数が少ないがどんな理由があるのか。

(回答)

英語・中国語・韓国語等はある程度地域でまかなえている。ネパール語等少数言語はニーズがあるのではないかと思われる。

(質問)

相談内容の集約はしているか。

(回答)

集約している。事例が蓄積すれば地域に共有することもできる。

(2) やさしい日本語啓発動画について

配付資料に基づき、やさしい日本語啓発動画について事務局から報告を行った。報告終了後、以下のとおり質疑が行われた。

(質問)

この動画の目的はやさしい日本語の言葉自体を知ってもらうということですか。

(回答)

やさしい日本語の存在自体を知ってもらうということが今回の目的である。活用事例調査を並行して行っていく。

(3) 第1回相談員研修・事例研究会について

配付資料に基づき、第1回相談員研修・事例研究会について事務局から報告を行った。報告終了後、以下のとおり質疑が行われた。

(質問)

労働相談にはどのように対応するか。

(回答)

労働相談であれば、産業労働局等を案内するが、当財団としては多言語での予約等の部分をサポートできればと考えている。相談は、労働相談の窓口がタブレット等で対応する。

(質問)

電車代がないような人もいるので、そういう方々を支援しているNPO・NGOがあるのでそういったところを開拓していく必要があるのではないか。

(回答)

今後進めていきたいと考えている。

(質問)

何らかの公募のような形でそういった団体も募集できないか。

(回答)

コロナで今までつながりがなかったような団体ともつながりができているので、

そういう縁も大事にしていきたい。

民間団体も得意分野があるので、各団体の特徴をうまくつかんでつなげられるとよいと考えている。

トコスの相談事例を分析して実際に解決できる団体がどこなのか区市町村とのつながりからそういう団体を集約して開拓していきたい。

(質問)

社会福祉協議会とのつながりを持つことも重要ではないか。

(回答)

来年度からボランティアの事業も始まるので、どこかのタイミングで社会福祉協議会とのつながりも持ちたいと考えている。

(4) 新型コロナ感染予防対策チラシ及びポスターについて

配付資料に基づき、新型コロナ感染予防対策チラシ及びポスターについて事務局から報告を行った。報告終了後、以下のとおり質疑が行われた。

(質問)

どのように配布するのか。

(回答)

データで配布している。区市町村やインターナショナルスクールには生活文化局から送っている。企業や観光客向けにも産業労働局から配布している。

(質問)

配布先から財団に受け取りましたと連絡を入れてもらうようにしたほうがよいのではないか。

(回答)

そのような視点も踏まえて工夫していきたい。

(5) 令和3年度予算の要求について（東京都）

配付資料に基づき、令和3年度の予算要求について事務局から報告を行った。質疑は特になかった。

(6) 理事長及び常務理事の職務執行状況について

配付資料に基づき、理事長及び常務理事の職務執行状況について事務局から報告を行った。質疑は特になかった。

11 その他

議長から、その他の発言を求めたところ特段の発言はなかった。

12 閉会

以上をもって議事が終了したため、議長が閉会を宣言し、令和2年度第2回理事会を終了した。